

安全対策セミナー

平成31年4月19日

在ベルギー日本国大使館

目次

1 ベルギーの犯罪発生状況

(1) 周辺諸国等との比較(2016年)

(2) 日本との比較(2017年)

(3) 注意すべき犯罪:

ベルギーでの発生状況(2017年)

2 日本人が被害に遭いやすい犯罪:

大使館に届けられた邦人被害(2018年)

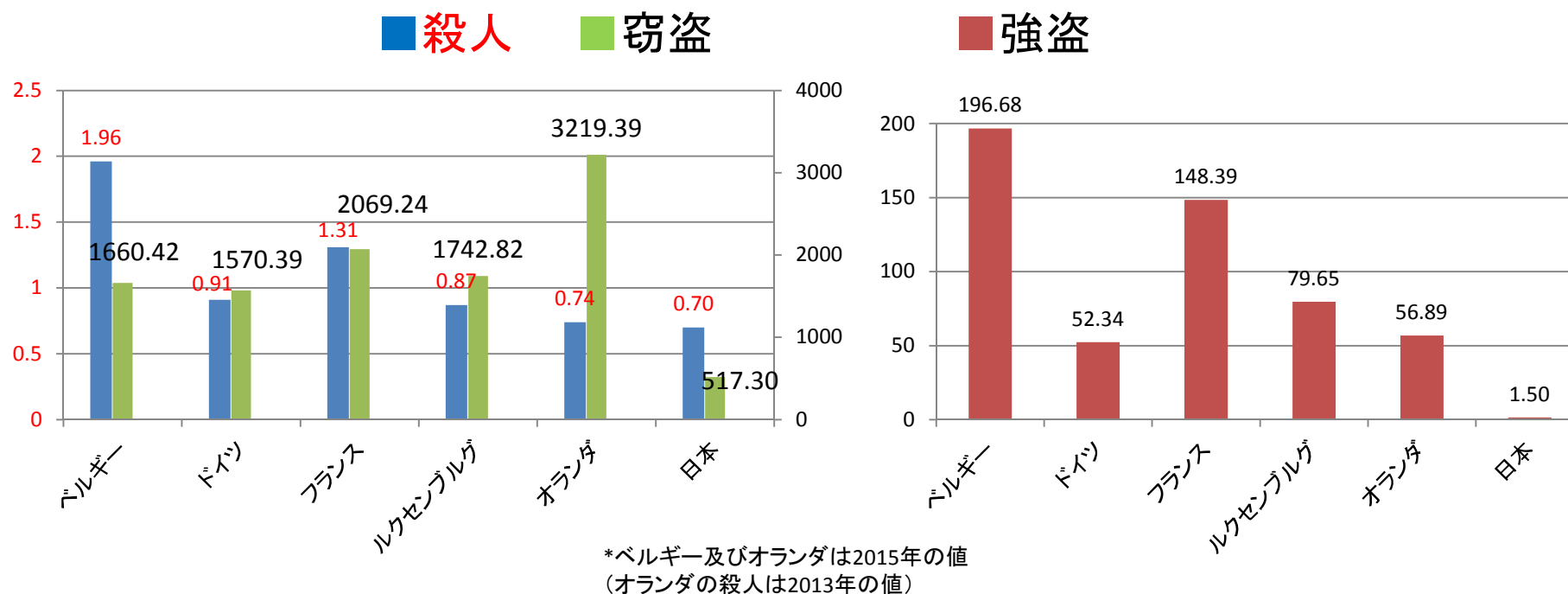
3 ベルギー警察について

4 外出時の注意事項

周辺諸国等との比較

※出典: eurostat 及び 平成30年警察白書

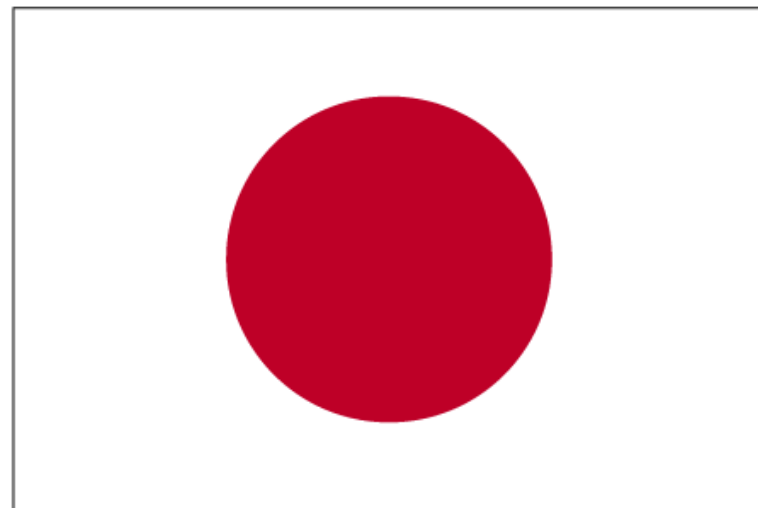
ベルギー周辺諸国等 人口10万人当たりの犯罪認知数(2016年)



近年、邦人に関しては、生命・身体への重大な被害報告はないものの...

- ■ 強盗は周辺諸国を含めても多発している状況。路上強盗は特に注意すべき犯罪。
- ■ 窃盗の発生水準はフランスやドイツと同等。日本の3倍以上で邦人被害も多数。

ベルギーと日本との比較



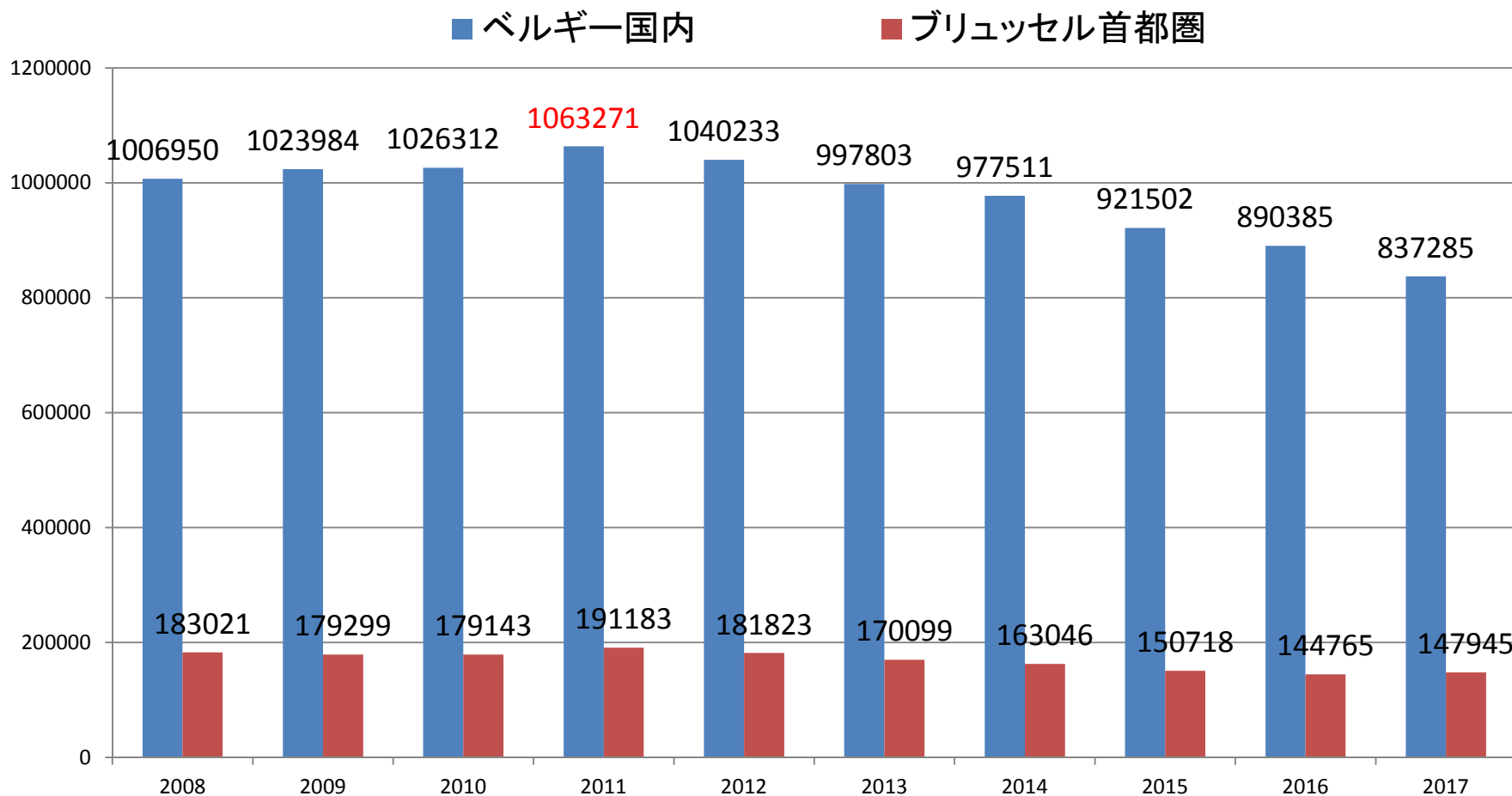
人口	11,413,058人
面積	30,528km ²
警察官	37,840人

人口	127,907,086人
面積	377,972km ²
警察官	259,745人

※出典：人口はeurostat(2017年) 及び 平成30年警察白書

ベルギー国内及びブリュッセル 犯罪認知件数

※出典:ベルギー連邦警察HP及び警視庁HP



東京の刑法犯認知件数:



○ ベルギーの犯罪認知件数は2012年以降、減少傾向が継続。

注意すべき犯罪：ベルギーでの発生状況 **2017年**

※注意すべき犯罪：発生件数が上位のもののほか、万一被害に遭った場合、被害回復が困難で精神的にも大きな打撃を受ける強盗を抽出。

ベルギー国内

犯罪認知件数	837, 285
1 侵入盗	53, 284
2 車上ねらい	48, 279
3 自動車損壊	34, 425
7 強盗(凶器なし)	15, 551

日本国内

915, 042	* 刑法犯認知件数
73, 122	
82, 121	* 車上ねらい、部品ねらいを合算
—	
1, 852	* 凶器の有無は区別なし

ブリュッセル首都圏内

犯罪認知件数	147, 945
1 車上ねらい	13, 306
2 すり	10, 658
3 侵入盗	7, 466
4 強盗(凶器なし)	6, 280

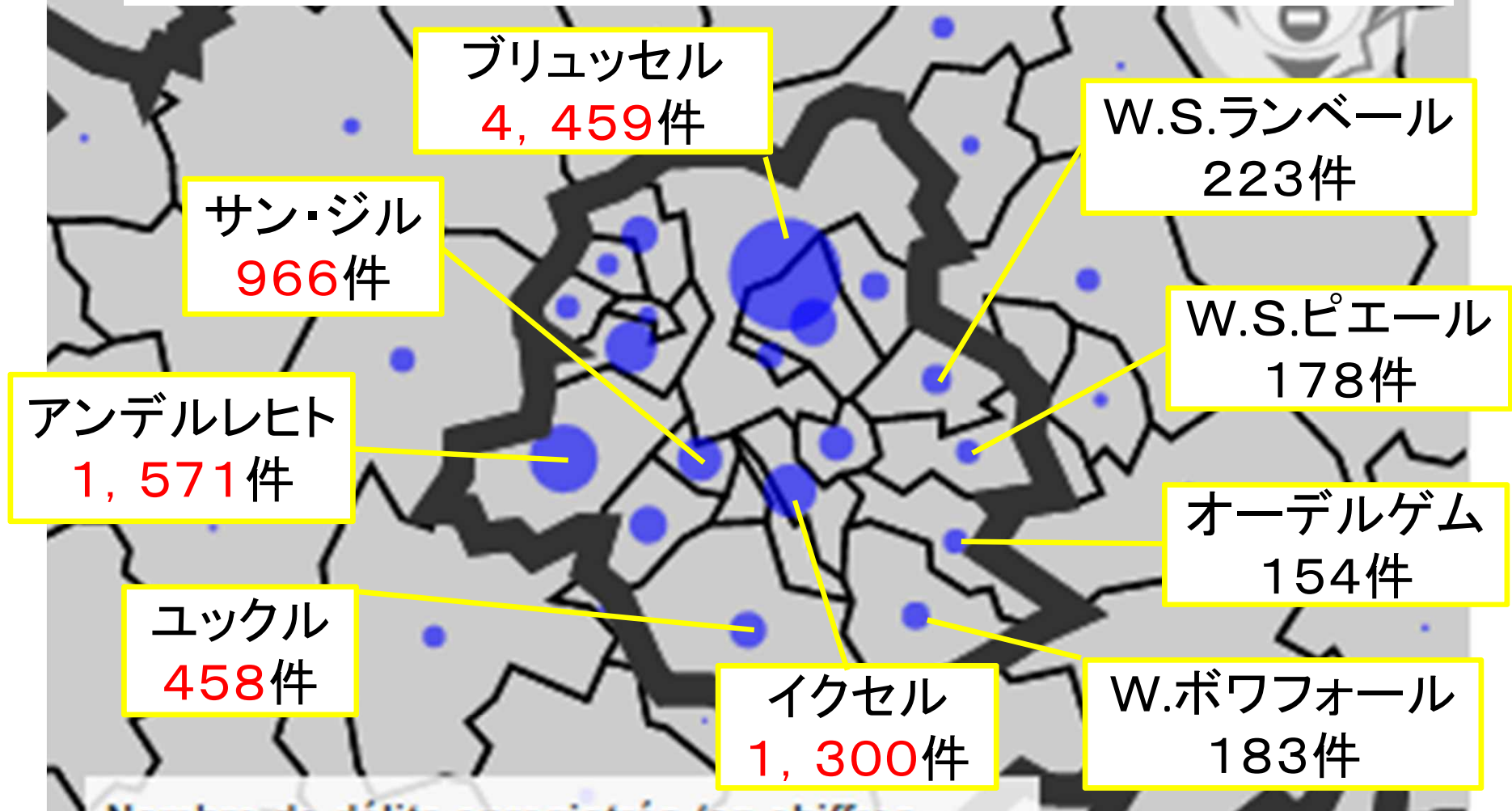
東京都内

125, 251	* 刑法犯認知件数
6, 101	* 車上ねらい、部品ねらいを合算
4, 907	* すり、置引き、仮睡者ねらいを合算
5, 237	
351	* 凶器の有無は区別なし

※出典：ベルギー連邦警察HP(2019年1月) 警察庁平成30年警察白書及び警視庁HP

※出典:ベルギー連邦警察HP(2019年1月)

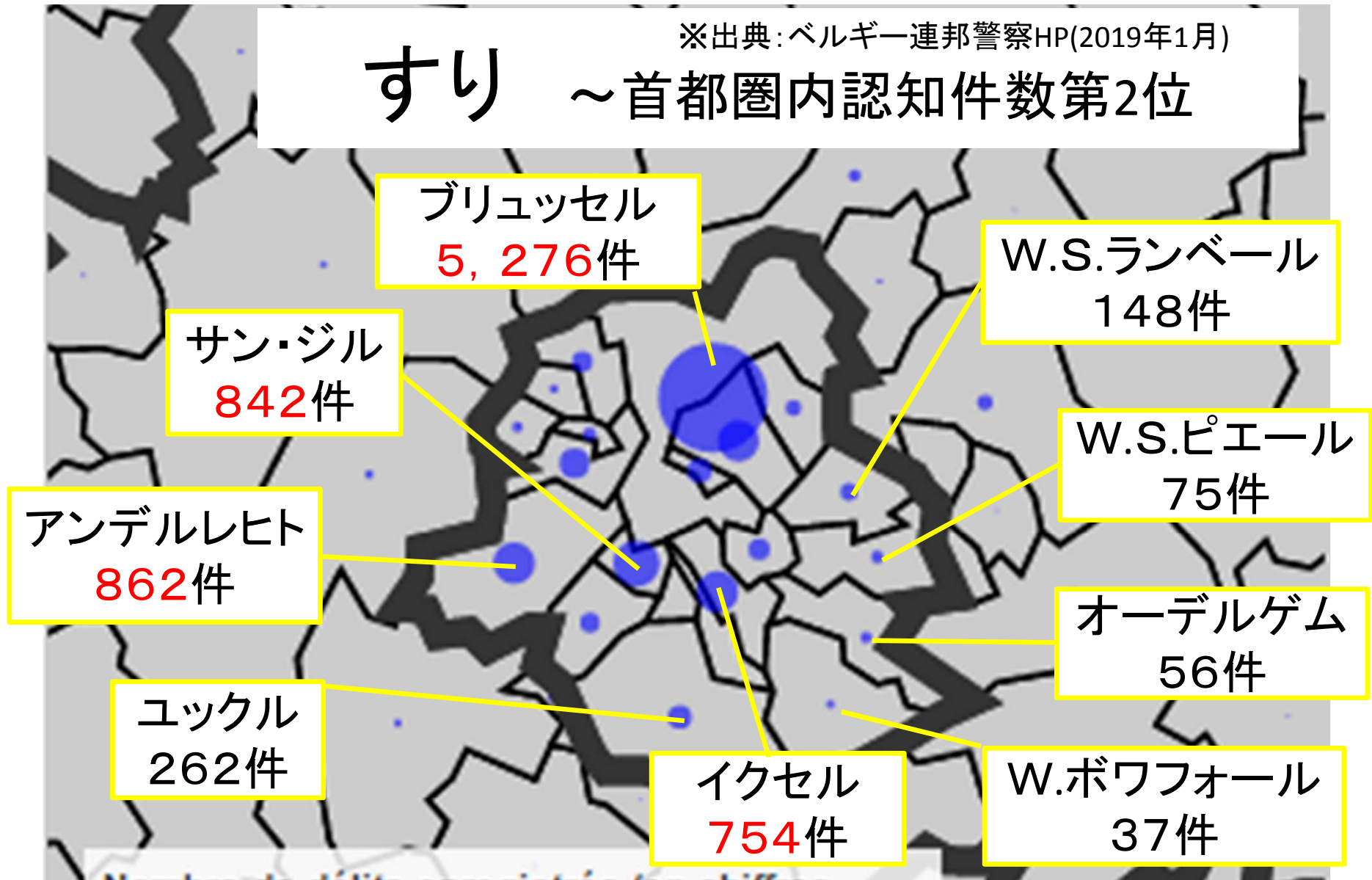
車上ねらい ~首都圏内認知件数第1位



- たとえ短時間でも駐車車両の中には、貴重品を絶対に放置しない。
- 夜間に路上駐車はせず、昼間でも人気のない裏路地での駐車は避ける。
- ネットや冊子により、外出前に有料・無料駐車場の場所を確認する習慣を。

※出典:ベルギー連邦警察HP(2019年1月)

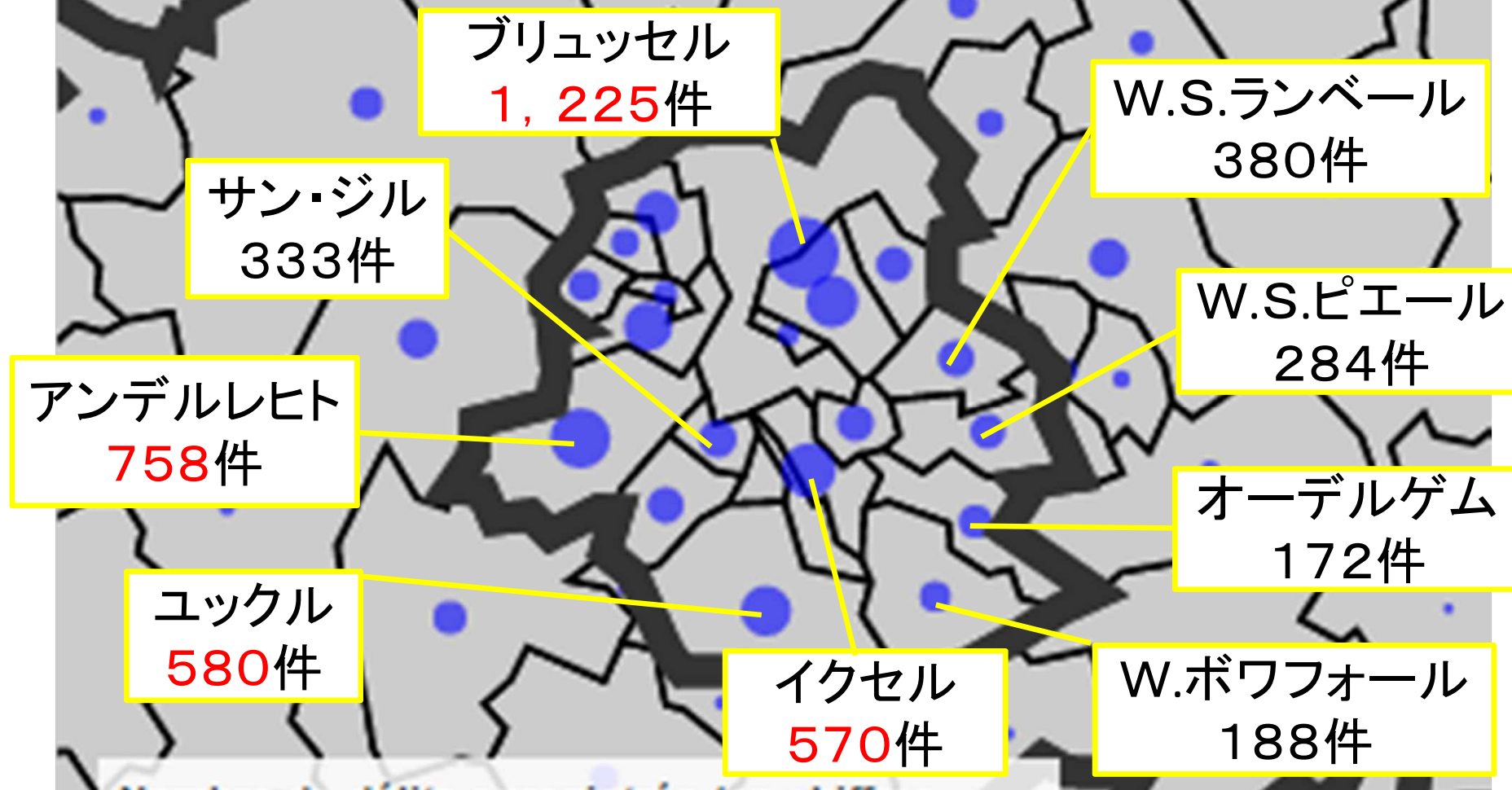
すり ~首都圏内認知件数第2位



- 貴重品は大きな荷物の中には入れず、バッグのチャックは締めて体の前で携帯する。
- 店内や人混みでは要注意。夜間の一人歩きは避け、人や車の往来が多い道を選ぶ。
- 電車内での盗難被害が続発。荷物は体から離さず、網棚はなるべく使用しない。

侵入盗

※出典：ベルギー連邦警察HP(2019年1月)
～首都圏内認知件数第3位



- 住居の選定に関しては、地域の選定に加え、物件の弱点を補うことが重要。
- 住居の安全のため、帰宅時は住居周辺の不審者・不審車両の存在をチェック。
- 有事に備えて、職場・学校等の関係者と「連絡網」の構築を。

ベルギー連邦警察HP掲載 統計資料

- 「police federale belgique」等で検索、
「Police Fédérale」(ベルギー)にアクセス。
- 画面下部欄外のタブ「Statistiques」を選択。
- 「Statistiques de criminalité」(犯罪統計)の
「Interactif」(任意選択式)を選択。
- 地図データを伴う「Aperçu」(概観)や「Carte」
(地図)を選ぶと、居住地等の犯罪発生状況
を確認できる。

大使館に届けられた邦人被害(2018年)

被害手口

強盗	2
ひったくり	2
すり	37
置き引き	57
車上ねらい	5
客室ねらい	—
侵入盗(空き巣等)	4
その他の手口	—
計	107

年齢

20歳未満	10
20歳代	21
30歳代	31
40歳代	20
50歳代	12
60歳代	10
70歳以上	3
計	107

- 2016年は45件、2017年は95件。件数 = 被害者数の傾向あり。単独行動時には要注意。
- 「話しかけられている隙に・・・」、「何か(液体等)をかけられて・・・」という犯罪の着手に注意。

大使館に届けられた邦人被害(2018年)

発生場所

		ブリュッセル	アントワープ	ブルージュ	その他の都市
駅	南駅	12	0	0	0
	中央駅	7			
	北駅	13			
	その他の駅	5			
電車・メトロ・バス内		10	1	1	10
ホテル内		5	0	0	1
レストラン内		5	2	0	0
空港内		1	-	-	-
路上		7	1	0	2
グランプラス周辺		10	-	-	-
その他の場所・自宅		9	0	1	4

○ 出張・旅行中の電車内、ホテルのロビー、駅券売機で切符を購入中、に注意。

ベルギー警察について

- ベルギー警察は「連邦警察」と「地元警察」に区分される。
- すり、ひったくり、空き巣等の事件は、地元警察が捜査する。
- 殺人、誘拐、カージャック事件など、重大または複数の警察区域にまたがる事件は、連邦警察が捜査する。
- 事件の被害にあったら「101番」又は「112番」
112番 ~ 欧州域内共通の警察通報番号

外出時の留意事項

当局は犯罪やテロの抑止に全力を尽くしており、ベルギー国内及びブリュッセルは、他の欧州の国や都市と同等の安全が確保されているが、以下のような場所では注意が必要。

- 市場、ショッピング・モール、商店街
- 観光地、コンサート会場、スポーツ競技場
- 公共交通機関（電車、バス、トラムの車内）
- 空港、駅

など

ベルギーにおける警戒レベル

ベルギーに対するテロ等の脅威については、脅威度分析調整機関(OCAM)が、警察等の治安機関から報告された情報に基づいて分析・評価している。

- レベル1(わずか)

テロは発生し得ない又はテロの脅威が存在しない。

- レベル2(普通)

テロが発生する可能性は小さい。

※ テロの脅威の緊迫性が低いことであり、脅威が存在しないことではない。

- レベル3(重大)

テロの可能性があり、発生し得る。

- レベル4(とても重大)

非常に危険な状態であり、事態は切迫している。

ご清聴ありがとうございました